

○計画期間：平成30年(2018年)4月～令和5年(2023年)3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和元年度終了時点(令和2年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、平成30年(2018年)3月23日に内閣総理大臣から認定を受けた八王子市中心市街地活性化基本計画に基づき、「世代をつなぎ、輝き続けるにぎわいのまち～来心地と居心地の良きの両立を目指して」を基本理念に掲げ、「来心地も居心地も良い暮らしやすいまちづくり」、「出店したくなる魅力あるまちづくり」、「買い物が笑顔に繋がるまちづくり」の3つの方針のもと、中心市街地の活性化に資する各事業を実施している。

計画期間2年目となった令和元年度(2019年度)については、主要事業である「マルベリーブリッジ西側延伸事業」が中心市街地の商業の中心である西放射線ユーロードまで延伸し、事業が完了した。また、延伸先のユーロードにおいても「ユーロード周辺のにぎわい創出事業」による2年目の整備が順調に進み、ハード事業による「まちの変化」が形として現れている。

駅前のペDESTリアンデッキがJR八王子駅と大型商業施設や西放射線ユーロードに接続したことにより、駅を中心とした東西の回遊利便性の向上が図られるとともに、新たな人の流れが生み出され、中心市街地全体のにぎわいの増進につながると考えている。

さらに中心市街地の居住人口の増加に比例して、人通りも増えてきており、実際に今年度の歩行者通行量は、目標値を達成した。民間によるマンション建設が現在も進んでいることから、街なか居住のニーズも引き続き高まっている。

今回のフォローアップでは、平成30年(2018年)に開業した商業施設の効果により、小売業年間商品販売額が増加しているが、引き続き、ハード事業で整備された空間や増加する街なか居住者をソフト事業などによって商業の活性化に結びつけていくことが重要となる。

一方で、小売業を取り巻く経済環境は、消費行動の変化に伴い、依然として厳しい状況が続いている。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うイベント・営業の自粛や外出自粛といった要請がなされるなど中心市街地の商業環境は厳しさを増しており、今後の影響が懸念される。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度 12 月 31 日)

(中心市街地 区域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
人口	30,121 人	30,921 人	32,256 人			
人口増減数	738 人	800 人	1,335 人			
自然増減数	▲19 人	▲19 人	▲14 人			
社会増減数	810 人	896 人	1,434 人			
転入者数	4,079 人	4,154 人	4,120 人			

※人口増減数は、自然増減数と社会増減数を合算した数値と一致しない。

2. 令和元年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和元年度は、5 月に第 10 回協議会を開催し、10 月、1 月に第 11 回、第 12 回を開催して各事業の経過報告及び基本計画の変更について協議を行った。加えて中心市街地における動きについて情報共有と意見交換を図り、計画に掲げた事業の円滑な実施に向けた調整に取り組んだ。

また、3 つのワーキンググループの活動を推進するために、引き続きタウンマネージャーを設置し、商店街や地域を含めた協議・調整、合意形成に向けた取組の支援を行った。

令和元年度は主要行政事業の一つである「マルベリーブリッジ西側延伸事業」が完了したほか、「ユーロード周辺のにぎわい創出事業」が順調な進捗を見せるなど、中心市街地の回遊性の向上に向けた取組が目に見える形で実感できるようになってきた。

これらをはじめとする行政による都市機能増進の事業が具体化する中で、その効果をさらなる活性化に繋げていくためには、民間の取組が重要となってくる。今後は、協議会として既存事業に加えて新たな民間主体の事業が発現できるよう展開していきたい。

一方、令和 2 年になって、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的打撃が避けられない状況にある。これまで以上に八王子市と当協議会が協働・連携しながら、中心市街地の活性化に向けて最大限の努力をしていきたい。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
歩きやすく、憩いやすいまち	歩行者通行量	124,297人 /日 (H28)	128,764人 /日 (R4)	128,863人 /日 (R1)	A	①	①
新たな老舗を生み出すまち	新規出店数	30店舗 (H24～R4合 計)	57店舗 (H30～R4合 計)	13店舗 (H30～R1合 計)	C	③	③
買い物をするのが楽しくなるまち	小売業年間商品販売額	7,742,391 万円 (H28)	8,050,462 万円 (R4)	8,049,521 万円 (R1)	B	③	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者通行量」については、昨年度に引き続き増加傾向にあり、今回のフォローアップ時点で平成28年度(2016年度)基準値を4,566人上回る状況となり、目標値に達している。これは、「民間共同住宅建設事業」を初めとするマンション建設に伴う居住人口の増加と「民間商業施設出店事業」により開業した店舗の利用者などが要因と思われる。

今後は、整備が完了するハード事業により、回遊性の向上が一層図られることで目標達成は可能と見込んでいる。

「新規出店数」については、「空き店舗改修・リノベーション事業」の補助対象事業者数を拡大したことなどにより新たに9件の新規出店につながった。令和2年度(2020年度)においても「空き店舗改修・リノベーション事業」の補助対象事業者数を拡大して実施することや、「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」、「夢・五房の運営」、創業支援機関による出店支援の実施によって新規出店事業者の増加を図ることで目標達成は可能と見込んでいる。

「小売業年間商品販売額」については、平成30年度(2018年度)中に「民間商業施設出店事業」、「民間商業施設建設事業」により新規に商業施設が開業したことで、基準値を大幅に上回り、ほぼ目標値に近い額まで増額となった。中心市街地の経済状況は引き続き厳しい状況だが、関連する事業の推進を継続することで目標達成は可能と見込んでいる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

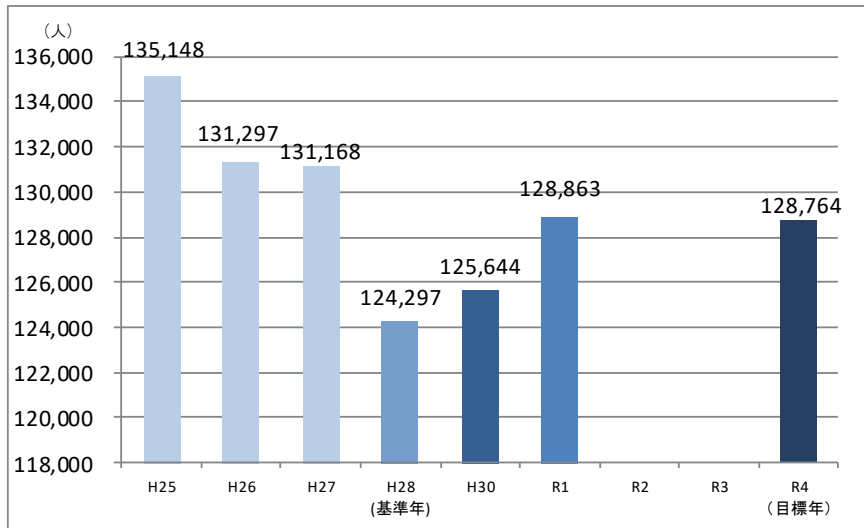
「小売業年間商品販売額」

目標達成見通しについては、平成 30 年度(2018 年度)フォローアップでは、中心市街地の経済状況が厳しく既存店舗の販売額が基準値を下回ったことから目標達成見通しを③と見込んでいたが、平成 30 年度(2018 年度)に事業完了した「民間商業施設出店事業」、「民間商業施設建設事業」による商業施設の販売額が加算されたことで、最新値が目標値に近い数値となり、計画掲載事業の推進等により目標達成が可能と見込まれるため①と評価した。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P.61～P.63 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H28	124,297 (基準年値)
H30	125,644
R1	128,863
R2	
R3	
R4	128,764 (目標値)

※調査方法： 中心市街地内 23 地点における歩行者数を毎年 12 月の第 1 日曜日とその 2 日後の火曜日に 9 時～22 時まで計測

※調査月： 令和元年(2019年)12月

※調査主体： 八王子市

※調査対象： 中心市街地内 23 地点(東放射線アイロード①、東放射線アイロード②、ドン・キホーテ前、横山町公園、八王子駅入口交差点、甲州街道①、甲州街道②、八日町交差点、甲州街道③、甲州街道④、桑並木通り、八王子スクエアビル西①、八王子スクエアビル西②、八王子スクエアビル北、パーク壱番街通り①、パーク壱番街通り②、甲州街道⑤、富士見通り、みさき通り、ジョイ五番街通り、みずき通り、野猿街道、とちの木通り)における歩行者通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. マルベリーブリッジの西側延伸(八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～令和元年度【済】
事業概要	JR 八王子駅北口駅前広場から、西放射線ユーロードへの動線の利便性向上を図り、駅と駅前の大型店を中心としたにぎわいを周辺商業施設へと促すために、マルベリーブリッジを西側へと延伸整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(八王子市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画事業)(国土交通省)(令和元年度)
事業効果及び進捗状況	平成 30 年(2018 年)9 月に工事着手し、令和 2 年(2020 年)3 月に事業が完了した。 なお、本事業により 2,387 人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。

事業の今後について	本事業による効果については、次年度以降のフォローアップにより検証を行う。
-----------	--------------------------------------

②. ユーロード周辺のにぎわい創出事業(八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	西放射線ユーロードにおいて、舗装や道路付属物(車止め等)の更新、植栽の設置など、景観に配慮した歩きたくなる道路空間の整備を行う。また、沿道の公園も含め、道路空間と一体となった憩いの空間として整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(八王子市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画事業)(国土交通省)(平成 30 年度～令和元年度)
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019 年度)は、西放射線ユーロードの中町エリアの整備を実施した。横山町エリアとあわせて整備予定区間の 3 分の 2 が完了し、順調な進捗状況にある。 完了後は本事業により 3,194 人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	令和 2 年度(2020 年度)に旭町・三崎町エリアの整備を予定しており、令和 3 年(2021 年)3 月の事業完了を目指している。

③. 民間商業施設出店事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 30 年度【済】 [認定基本計画：令和元年度～]
事業概要	甲州街道沿道地区にマンション建設と合わせて新たな商業施設の出店を誘引し、エリアの買い物利便性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 31 年(2019 年)1 月にマンションが竣工し、3 月に「イオンフードスタイル八王子店」が開業した。 令和元年度(2019 年度)における本商業施設の来館者数は、738,000 人であることから、歩行者通行量の増加や周辺のにぎわい創出に大きく寄与している。
事業の今後について	本事業は、平成 31 年(2019 年)3 月の商業施設開業により、事業完了した。

④. 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために中町で商業施設、憩いのスペース等の整備を行

	う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(平成30年度)
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019年度)は、11月に基本設計・実施設計等委託業務の業者選定を公募型プロポーザルで行い、設計等業務に着手した。なお、本事業により1,300人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	今後は、令和2年度(2020年度)に基本設計・実施設計、令和3年度(2021年度)から施設整備に着手し、計画期間内での開業に向けて事業に取り組む。

⑤. 民間共同住宅建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成30年度【済】 [認定基本計画：平成30年度～令和元年度]
事業概要	民間事業者が新たな共同住宅を建設する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年度(2018年度)に計画に記載する民間共同住宅3棟が予定どおり竣工した。 今回のフォローアップにおいては、平成30年(2018年)に竣工したマンションに近接する調査地点(NO.10)の歩行者通行量が平成28年(2016年)と比較して475人増加している。 ブリリアタワー八王子 (平成31年(2019年)1月竣工 226戸) ルネ八王子トレーシア (平成31年(2019年)1月竣工 86戸) ミオカステーロ八王子Ⅱ(平成30年(2018年)9月竣工 83戸)
事業の今後について	本事業は、民間共同住宅3棟の竣工により、事業完了した。

⑥. 魅力づくり・にぎわい創出支援事業(八王子市)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の新たな魅力創出による回遊性促進のため、民間による民地を活用した滞留拠点や一体的なファサードの整備等に対してその費用の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成30年度～)
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019年度)に本事業を活用した滞留拠点整備は、1件であった。 平成30年度(2018年度)に実施した補助事業の近接地において引き

	<p>続き整備された。事業実施場所及びその周辺では商店会によるイベントが開催され、平時も休憩に訪れる利用者と周辺店舗の商業者との会話が行われるなど、にぎわい創出の一助となっており、歩きやすく、憩いやすいまちづくりに寄与している。</p> <p>今回のフォローアップにおいては、事業実施場所に近接する調査地点(N0. 30)の歩行者通行量が平成 28 年(2016 年)と比較して 94 人増加している。</p>
事業の今後について	本事業については、継続して実施する。

⑦. 中心市街地ソフト事業支援事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で実施される民間イベントなどのソフト事業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>令和元年度(2019 年度)においては、西放射線ユーロードでの「八王子フードフェスティバル」に合わせて、各実施主体の支援する複数イベントを同時に開催し、中心市街地全体への来外機会の拡大と回遊性の向上を図った。</p> <p>各実施主体では、既存イベントの「八王子フードフェスティバル」、「第 2 回楽ぱく秋まつり」、「みずき通り音楽で街育て」と新規イベントの「八王子ウイスキーストリート」の開催に向けての準備、会場の提供及び周知活動など全体的な調整を含む支援を実施した。</p> <p>これらを含め、中心市街地では約 70 のイベントが開催されており、にぎわいの創出や歩行量の増加に寄与している。</p>
事業の今後について	引き続きイベント支援を行い、中心市街地への来街機会の増加及び回遊性向上に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と考えられる。

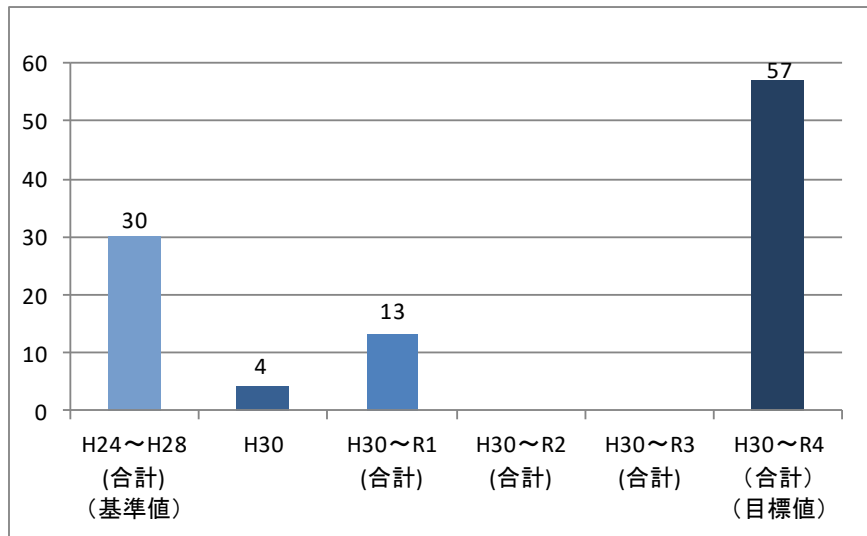
令和元年度(2019 年度)の歩行者通行量は、128,863 人となり、前年度との比較では 3,219 人(約 2.6%)の増加、基準年度である平成 28 年度(2018 年度)との比較では 4,566 人(約 3.7%)増加となり、目標値に到達することができた。

これは、「民間共同住宅建設事業」を初めとするマンション建設に伴う居住人口の増加と「民間商業施設出店事業」により開業した店舗の利用者などが要因と思われる。

今後は、「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」といった民間事業の取り組みを進めることで実績を伸ばしていきたい。

「新規出店数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.64～P.65 参照

●調査結果の推移



年	(店舗)
H24 ~28	30 (基準年値)
H30	4
H30 ~R1	13
H30 ~R2	
H30 ~R3	
H30 ~R4	57 (目標値)

※調査方法： 事業実施者への調査

※調査月： 令和2年(2020年)5月

※調査主体： 八王子市

※調査対象： 積算事業により中心市街地に出店した新規店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために中町で商業施設、憩いのスペース等の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(平成30年度)
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019年度)は、11月に基本設計・実施設計等委託業務の業者選定を公募型プロポーザルで行い、設計等業務に着手した。なお、本事業により8店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	今後は、令和2年度(2020年度)に基本設計・実施設計、令和3年度(2021年度)から施設整備に着手し、計画期間内での開業に向けて事業に取り組む。

②. 空き店舗改修・リノベーション事業(八王子市)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内の空き店舗を改修もしくはリノベーションして出店

	する事業者に対して店舗改修費の補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成 30 年度～)
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019 年度)に本事業を活用した中心市街地への出店数は 8 店舗となった。計画期間中の出店数は 11 店舗となり新規出店事業者数の増加に寄与している。 なお、本事業により 25 店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	本事業については、継続して実施する。補助制度に関する問合せも 30 件以上あり、令和 2 年度(2020 年度)も前年に引き続き補助対象事業者数を拡大する。

③. 夢・五房の運営(八王子商工会議所)

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	甲州街道沿いにある市有物件「中心市街地活性化施設」の 5 店舗を活用した賑わいの創出を図るために、当該施設の貸出及び支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019 年度)は、既存 2 店舗の運営を行っている。残る 3 店舗については、中心市街地活性化協議会のワーキンググループにおいて、検討が進められた施設の利活用方針案に基づいて、関係者にヒアリングするなど事業を進めている。 なお、本事業により 4 店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	関係者へのヒアリング結果を踏まえ、利活用方針を早期に決定し、令和 2 年度(2020 年度)中の出店に向けて取り組む。

④. 本気の創業塾(サイバーシルクロード八王子)

事業実施期間	平成 17 年度～【実施中】
事業概要	基本的な創業ノウハウの学習や、志望業種に合わせた実践的なマーケティング、ビジネスプランのブラッシュアップ等を行うことで人材育成を行い、創業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	創業支援等事業者補助金(経済産業省)
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019 年度)に本事業を活用しての中心市街地への出店数は 1 店舗となった。計画期間中の出店数は 2 店舗となり、新規出店事業者数の増加に寄与している。 また、中心市街地以外での創業は 8 件あったことから、今後集客が見込まれる中心市街地での創業についても期待できる。 なお、本事業により 20 店舗の新規出店を見込んでいる。

事業の今後について	<p>中心市街地における創業者の増加に向け、中心市街地での事業開始において生じるコスト及び立地条件といった課題を持つ創業者支援として、本気の創業塾において金融機関が資金調達に関するノウハウを受講生に提供する時間を設けるほか、当塾卒業生とのネットワークを通じて OB である不動産事業者等に相談できる取組を行っていく。</p> <p>また、本事業に加えて、実施主体、市、商工会議所及び金融機関等で構成する起業家応援プロジェクトを中心に、今後も多様な創業者の輩出を目的にカリキュラムを見直しつつ継続して実施する。</p>
-----------	--

⑤. 空き店舗マッチング事業(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【未実施】
事業概要	<p>民間の不動産事業者等と連携し、空き店舗オーナーの実態調査や貸す気のないオーナーへの働きかけ、出店希望者とのマッチング等の取組みを行い新規出店を支援する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>令和元年度(2019 年度)は、これまでの調査結果を基に空き店舗オーナーの実態調査に向けた準備を行うとともに市内の不動産団体と空き店舗改修・リノベーション事業の周知協力を依頼する中で、市の取組についての説明を行った。</p> <p>なお、本事業により新規出店を促進する事業効果を見込んでいる。</p>
事業の今後について	令和 2 年度(2020 年度)は、早期の事業開始に向けて不動産団体との意見交換を行う予定である。

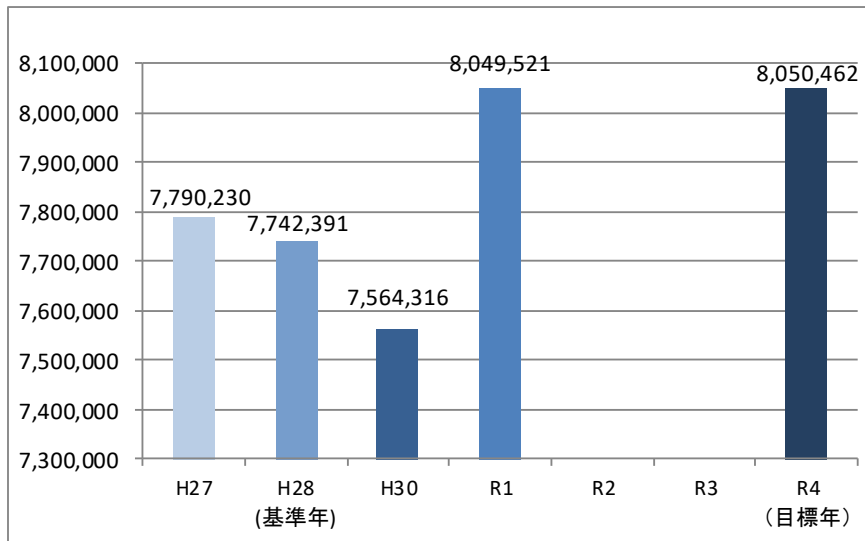
●目標達成の見通し及び今後の対策

今後は、「空き店舗改修・リノベーション事業」の補助事業者数を令和 2 年度(2020 年度)も拡大して実施すること、「夢・五房の運営」による出店の取組が進んでいることや計画期間後半の「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」による出店が見込まれていることなどから目標達成は可能と見込んでいる。

引き続き、出店支援策の取組を促進し、新規出店店舗の増加に努めていきたい。

「小売業年間商品販売額」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 65～P. 67 参照

●調査結果の推移



年	(万円)
H28	7,742,391 (基準年値)
H30	7,564,316
R1	8,049,521
R2	
R3	
R4	8,050,462 (目標値)

※調査方法： 対象店舗に対するアンケート調査

※調査月： 令和2年(2020年)2月～5月

※調査主体： 八王子商工会議所

※調査対象： 小売業店舗 84 店舗及び計画期間中に新たに会議所に参加する中心市街地エリア内の小売業店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 民間商業施設出店事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 30 年度【済】 [認定基本計画：令和元年度～]
事業概要	甲州街道沿道地区にマンション建設と合わせて新たな商業施設の出店を誘引し、エリアの買い物利便性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 31 年(2019 年)1 月にマンションが竣工し、3 月に「イオンフードスタイル八王子店」が開業した。 令和元年度(2019 年度)における本商業施設の来館者数は、738,000 人であることから、小売業年間商品販売額の増加や周辺のにぎわい創出に大きく寄与している。
事業の今後について	本事業は、平成 31 年(2019 年)3 月の商業施設開業により、事業完了した。

②. 民間商業施設建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	八王子駅周辺地区の開発において新たな大型商業施設の建設を誘引することで、周辺の商業施設との相乗効果により集客力の向上を

	図り、経済活力を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	八王子駅周辺地区については、平成30年(2018年)11月末に「八王子オーパ」が開業した。 令和元年度(2019年度)における本商業施設の来館者数は、3,735,000人であることから、まちなかへの来街機会の創出につながっており、小売業年間商品販売額の増加や周辺のにぎわい創出に大きく寄与している。
事業の今後について	本事業は、平成30年(2018年)11月の商業施設開業により、事業完了した。

③. 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために中町で商業施設、憩いのスペース等の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(平成30年度)
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019年度)は、11月に基本設計・実施設計等委託業務の業者選定を公募型プロポーザルで行い、設計等業務に着手した。 なお、本事業により36,000,000円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	今後は、令和2年度(2020年度)に基本設計・実施設計、令和3年度(2021年度)から施設整備に着手し、計画期間内での開業に向けて事業に取り組む。

④. MICE開催による八王子ブランドの手土産等の販売促進事業

(公益社団法人八王子観光コンベンション協会)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～]
事業概要	公益社団法人八王子観光コンベンション協会が取り組みを進めている市内のホール等を活用した、展示会、学会、イベントなどのMICE誘致に合わせて、商業分野の事業者と連携して参加者等へ八王子ブランドの銘菓や織物製品などのお土産品をPRし、販売を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019年度)に、実施主体が支援した MICE 開催件数は 15 件となり、うち中心市街地の小売業店舗を利用した開催支援件数は 7 件(参加者 15,341 人)で、109 万円の売上げがあり、小売業年間商品販売額の増加に寄与した。 なお、本事業により 10,000,000 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	本事業については、継続して実施し、今後も MICE 開催支援に取り組み、更なる小売業年間商品販売額の増加を促進する。

⑤. 目印は八王子暖簾事業(八王子商工会議所)

事業実施期間	令和元年度【未実施】 [認定基本計画：令和3年度～]
事業概要	中心市街地内の各店舗において、暖簾などの共通したマークを用いたサイン等を掲出して統一感を醸し出すとともに、各店舗で独自に開発した新商品を八王子ブランドに認定し、販売促進に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	現在、事業実施に向け、実施主体において内容等の検討及び調整を行っている。 なお、本事業により 152,141,100 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	事業開始予定年度での実施に向け、引き続き内容等の検討及び調整に取り組む。

⑥. コミュニティサイクル事業(一般財団法人八王子市まちづくり公社)

事業実施期間	令和元年度【未実施】 [認定基本計画：令和3年度～]
事業概要	JR 八王子駅と、中心市街地内及び市内周辺とをコミュニティサイクルで繋ぎ、中心市街地全体の回遊性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	現在、事業実施に向け、実施主体において内容等の検討及び調整を行っている。 なお、本事業により 19,162,500 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	早期事業開始に向け、引き続き内容等の検討及び調整に取り組む。

⑦. あきんど研修会(八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	商業者を対象とした、専門家や先駆者による研修を行い、既存の商店街や個店の魅力を引き上げるとともに、新規出店者に対しても、経営支援研修等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度(2019 年度)は、中心市街地の店舗も加盟する蕎麦商組合を対象として、消費税率の引き上げに伴い、軽減税率が導入されることから経営支援を行う研修会を開催した。 なお、本事業により 152, 141, 100 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の影響により、休止しているが、本事業の実施に向け、商店街等と引き続き調整に取り組む。

⑧. 地域経済応援ポイントによる販売促進事業(八王子商工会議所)

事業実施期間	令和元年度【未実施】 [認定基本計画：令和 3 年度～]
事業概要	商店街や大型店において共通のポイントにより消費者に特典を与える取組を実施し、買い回りを促進して店舗の売上向上に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	現在、事業実施に向け、実施主体において内容等の検討及び調整を行っている。 なお、本事業により小売業年間商品販売額を増加させる効果を見込んでいる。
事業の今後について	事業開始予定年度での実施に向け、引き続き内容等の検討及び調整に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業が概ね順調に進捗し、昨年度開業した商業施設の効果もあることから目標達成は可能と見込んでいる。

今後は、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念されるが、計画期間後半に整備される「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」や「MICE 開催による八王子ブランドの手土産等の販売促進事業」を始めとする民間事業者が取り組むソフト事業により商業活力の向上を目指していく。